

皆様の暮らしに安心と活力をお届けする情報紙

July vol. 21

たよ

くりんぱーく便り

株式会社門前クリーンパーク 輪島市門前町劔地口1番地 TEL.0768-45-1820

暑中お見舞い申し上げます。

日を追うごとに夏らしくなり里山里海の風景が一層映える季節となりました。

コロナウイルスに対する配慮が欠かせない日々が続いておりますが、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々はもとより、これに伴う経済・社会活動の停滞によりご苦労されている皆様にも心からお見舞いを申し上げます。そして一日も早い収束と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

株式会社タケエイは、2021年10月にリバーホールディングス株式会社と共同持株会社TR Eホールディングス株式会社（以下、TR E）を設立いたしました。

TR Eは、「地球の環境保全に貢献する。」という企業理念のもと、限りある資源を活かすきり、地球温暖化防止のCO₂排出削減、廃プラスチックリサイクル等に必要大規模投資や技術開発を行い、自治体をはじめあらゆるプレーヤーと協働を図り、高度循環型社会ならびに脱炭素社会への貢献を目指してまいります。

タケエイグループの事業活動については、引き続き、再生可能エネルギー事業に注力しており、現在、全国6ヶ所の木質バイオマス発電所が稼働しております。また、株式会社タケエイ林業では、発電燃料調達だけでなく森林整備の促進、林業の活性化へ繋げるために森林の保有と管理を行い、各地の自治体や森林組合等と連携し、資源の地産地消型エネルギー社会の実現を目指しています。今年5月にはJWガラスリサイクル株式会社の全株式を取得いたしました。今後ニーズが見込まれる太陽光パネルのリサイクル、各種合わせガラスや使用済自動車ガラスリサイクルについても積極的に取り組みを推進して、TR Eグループの再資源化事業の拡充に貢献してまいります。

門前クリーンパークの建設工事においては、引き続き、安全第一と埋蔵文化財調査や保護対象種である動植物等への環境保全に十分配慮しながら、真摯に取り組んでまいります。

私ども門前クリーンパークは、TR Eグループの一員として、より安心・安全で地域に貢献できる環境事業を目指して取り組んでおります。

今後とも引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社門前クリーンパーク
代表取締役社長

三本 守



環境活動報告

今年の5月に深谷川の河口清掃を行いました。前年に引き続き3回目の実施となり、グループ会社や地元企業の皆様にもご協力をいただき、河口に流れ着いたゴミや漁網等（約2.5 t）を撤去し、綺麗にすることができました。

また、白米千枚田の田植えは、コロナ禍による制限があった昨年とは違い、御陣乗太鼓の演奏に始まり、華やかな雰囲気の中で行われ、気持ちのよい汗をかくことができました。秋には例年通り稲刈りを実施する予定です。

今後も積極的に環境維持活動を実施してまいります。



白米千枚田の
田植え



深谷川の
河口清掃



門前クリーンパークの近況

施工状況と今後の工程について

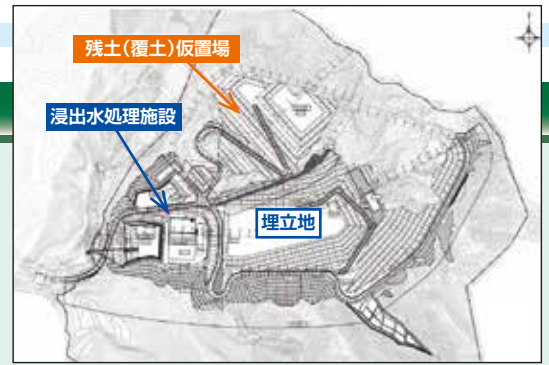
施工状況について

門前クリーンパークの建設は、2018年12月に着工し、3年以上が経過しました。現在、浸出水処理施設や残土(覆土)仮置場、埋立地付近の造成工事を実施しております。工事期間は、当初、3年間で予定しておりましたが、保護対象種とした鳥類への配慮や埋蔵文化財の調査、降雪の影響等により、11ヶ月延伸し、2022年11月末の完成を予定しています。今後も引き続き、環境に配慮し安全に工事を実施してまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



環境調査について

環境影響評価書にしたがって、第1期工事期間中の環境調査および環境保全措置を実施しました。動物の調査では、昨年に引き続きノスリの繁殖を確認しました。環境調査の結果は、1年間の調査結果をとりまとめ、中間報告としてホームページで公表してまいります。



全体平面図(第1期整備)



2022年6月撮影

管理棟完成間近

門前クリーンパークは開業に向けて着々と準備を進めております。

産業廃棄物の受け入れの拠点となる管理棟は、今年の2月に着工し、現在は外観がほぼ完成している状況です。外観の色彩は、輪島市の景観条例に準じたブラウンを基調としています。

今後はクロス等の内装工事を進め、今年の秋には完成を予定しています。



▲管理棟の外観(正面)



▲管理棟の外観(玄関側)

タケエイグループの近況

TREホールディングス株式会社設立のお知らせ

(株)タケエイとリバーホールディングス(株)は、2021年10月1日よりTREホールディングス(株)としてスタートしました。

TREが目指すのは、未来に向かって捨てない、サステナブルな社会です。社会全体で環境に対する意識が大きく変わりつつある今、様々な技術を生み出し、業界を先導していくことが私たちの務めです。

産業廃棄物や家電、使用済自動車などを受け入れ、人の手や選別機、破砕機などによる中間処理を行い、金属やプラスチック、木、紙などの素材ごとに再資源化(マテリアルリサイクル)します。中間処理にて分別されたプラスチックや紙類は、固形燃料RPFの原料として有効活用し、グループ内の発電所で燃料の一部として利用しています(サーマルリサイクル)。また、バイオマス発電から発生する余熱は、農業などにも生かしています。中間処理後、再資源化できない残渣物は最終処分場へ埋め立てます。埋め立てが完了した自社最終処分場の跡地は、太陽光発電施設やパークゴルフ場として有効活用しています。今後は、この一連のプロセスで得た知見を製品メーカーに還元して再資源化・再生利用しやすいモノづくりを推進し、より環境負荷の少ない社会づくりに貢献してまいります。

- ・TRE HOLDINGS CORPORATION
- ・東京証券取引所プライム市場(9247)
- ・資本金100億円
- ・グループ会社 国内約60ヶ所
海外 1ヶ所



JWガラスリサイクル株式会社

JW ガラスリサイクル(株)では、板ガラス店や板ガラスセンター等から板ガラス屑を、酒販店やあきびんポスト等からあきびんを回収しています。

回収したガラスの屑は、種類・色ごとに分別し、アルミ・鉄・陶磁器などの異物を取り除き、破砕して新しいガラスをつくる原料(カレット)にします。このカレットは再度、板ガラスの原料となるため、底堅い需要も見込まれ、資源循環にも貢献する事業です。



お問い合わせ

株式会社門前クリーンパーク

〒927-2342 石川県輪島市門前町劔地口1番地

TEL. 0768-45-1820

<https://www.takeei.co.jp/mzcp/>

皆様のご意見・ご感想をお寄せください。

